

## 揺るぎ岩（千石岩）

若杉山の中腹に「古堂」という所があります。こ

修めながら、都に帰る日  
を待っていました。

こは昔、僧侶の修験場で「大講堂」が建てられて

この岩は、頂点に立つ  
ても根元が見えないほど  
絶壁になっています。

いました。そこには「揺るぎ岩（千石岩）」という大きな岩があり、次のような話が伝えられています。

唐から帰国した空海（弘法大師）は、若杉の奥の院にこもって秘法を

き、この鬼が空海に力比べを申し込みました。空海は「お前は千石岩を揺

るがせるか。私がこの岩を揺るがすから見ていよ」と揺るぎ岩によじ登り、右手で岩の頂点をつかみ「エイヤ、エイヤ」と揺さぶると、あら不思議「ゴットン、ゴットン」と音を響かせて前後に大きく揺れ始めました。

これを見た鬼は「よし、俺も負けはしないぞ」と千石岩の頂点をつかみ「よいしょ、よいしょ」と揺さぶりますが、びくともしません。「よおし、今度こそは」と手に唾を付けて一気に押ししました。が、その拍子にあやまつて絶壁の岩の根元に落ちて気を失ってしまいました。

空海の看護でやつと氣付いた鬼は、それ以降悪事をやめて空海の弟子になったと言われています。

お前は千石岩を揺るがせるか。  
私がこの岩を揺るがすから、見ていよ。

エイヤ、エイヤ

